

カテゴリー 景観、その他(環境)

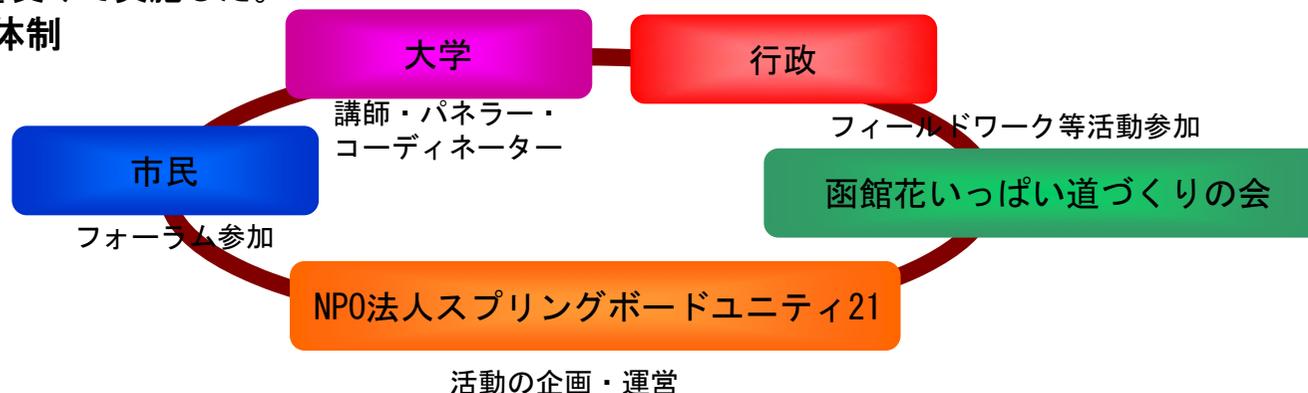
活動名称 はこだて花かいどう

ルート名称 函館・大沼・噴火湾ルート

①活動概要

はこだて花かいどうは、平成16年度から始まった沿道植栽活動であり、今年度で8年目の活動である。撤去した花苗を利用した堆肥づくりは、平成19年度から試行していたが、参加メンバーの高齢化が進み将来的な担い手不足が懸念され続けていたこともあり、今年度小中学生を対象とした総合的環境教育を通して担い手を育成しながら、堆肥づくりを実施することとなった。本事業は、「資源循環型「花いっぱい活動」の担い手育成・地域協働ネットワークづくり」として、地球環境基金より280万円の助成を受けて実施した。

②活動の体制



▲ミミズのフィールドワーク

③苦労した点や工夫した点

◆資源循環型の活動を実施する上で、一番問題として挙げられたのが、植栽している園芸種がマリーゴールドやペゴニア、サルビア、ペチュニア4種類全てが外来種であり、外来種を持ち込むことによる周辺環境への影響が不安視された。この問題を解決できたのは以下の点について確認できたことであった。

- ・植栽周辺の立地状況が、企業5件と一般住宅1件のみで、付近に自然公園や小公園が存在しない
- ・植栽している園芸種は短年草であることもあり、撤去時には全ての花を根こそぎ撤去しているため、落ちた種から花が咲くといった事例はない。

④活動の効果

◆この活動は、ミミズによる撤去した花のコンポスト化を目指した活動であり、大学の先生方からまず間違いなく堆肥化は成功するであろうとのお話を頂いている。この事業の成功により花による資源循環型活動が完成するだけでなく、今までの堆肥購入費用も削減できる。

⑤今後の活動予定等

今後も資源循環型活動にチャレンジし続けながら担い手育成に向けた事業を実施していきたい。



▲函館花いっぱい地球環境フォーラムチラシ

様式2 (★指定・候補ルート共通)

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2011

ルート名	函館・大沼・噴火湾ルート
活動の名称	はこだて花かいどう
活動期間	平成16年度～平成23年度(継続中)
評価の視点 ※相当すると思 われるものに○ (複数選択可)	<p>①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、 ③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、 ⑤人材育成の充 ⑥その他シーニックバイウエイ北海道の推進への寄与</p>
<p>1. アピールポイント</p> <p>◆「花いっぱい活動」の担い手育成・地域協働ネットワークづくり</p> <p>「はこだて花かいどう」を実施している函館花いっぱい道づくりの会は、参加メンバーの高齢化が進み、将来的な担い手不足が懸念されている。そこで、今年度小中学生を対象とした総合的環境教育を実施した。具体的には、植物廃棄物を堆肥化するために必要な「ミミズ」の学習・採取を行い、今年度撤去した花が堆肥化(コンポスト化)できるかどうかの実験を行った。</p> <p>◆フォーラム・パネルディスカッションによる活動の周知</p> <p>「はこだて花かいどう」の取り組みや今年度試験的に実施した総合的環境教育についての活動報告とミミズによるコンポスト化についてのパネルディスカッションを「函館花いっぱい地球環境フォーラム」として行い、活動の周知を行った。フォーラムは、横浜国立大学大学院環境情報研究院土壌生態学研究室の金子教授(農学博士)や東京大学サステナビリティ学連携研究機構の只見特任研究員、一般財団法人宮崎公園協会の谷越管理運営課長、NPO法人スプリングボードユニティ21の折谷理事長がパネリストとして参加し、コーディネーターとしてシーニックバイウエイ北海道でも関わりの深い筑波大学大学院システム情報工学研究科の石田教授をお招きして実施した。</p> <p>◆花の循環型活動</p> <p>今年度撤去した花のコンポスト化が成功すれば、撤去した後の花をゴミとして処分しなくて済み、CO₂を発生させないことで、花による資源循環型活動が完成する。また、これまでの肥料購入費用もなくなり、花苗や備品などの費用に充当できる。</p> <p>◆「はこだて花かいどう」の取り組みの評価</p> <p>平成22年5月には、国土交通省より「全国みどりの愛護功労者 国土交通大臣表彰」、平成23年10月には、函館市より「函館市都市景観賞」を受賞するなど、函館市はもとより全国に「はこだて花かいどう」の活動が評価された。</p>	
<p>2. 創意工夫、苦勞した点</p> <p>◆「はこだて花かいどう」で植栽している外来種の取り扱い</p> <p>「はこだて花かいどう」での植栽活動は、マリーゴールドやベゴニア、サルビア、ペチュニアの4種類を用いており、これらは全て外来種である。外来種を持ち込むことによる周辺環境への問題が不安視されたため、以下の点について確認を行ったところ、問題ないとの回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館新道周辺の立地状況は、企業5件(ガソリンスタンドやスーパーなど)及び一般住宅1件であり、付近に自然公園や小公園などは存在しない。 ・今年で8年目の活動であるが、過去の活動において、落ちた種から花が咲くといった事例はなく、また撤去時には、全ての花を根こそぎ撤去している。 	